

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月2日 (2010.4.2)

【公開番号】特開2007-254727(P2007-254727A)

【公開日】平成19年10月4日 (2007.10.4)

【年通号数】公開・登録公報2007-038

【出願番号】特願2007-41385(P2007-41385)

【国際特許分類】

C 0 8 F 265/06 (2006.01)

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 265/06

C 0 8 J 5/18 C E R

C 0 8 J 5/18 C E Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月10日 (2010.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱可塑性樹脂を主成分とし、平均粒子径が  $0.01\ \mu\text{m}$  以上  $1\ \mu\text{m}$  以下の範囲内の有機微粒子を、5 重量% 以上 50 重量% 以下の範囲内で含む樹脂組成物であって、

フィルムとした場合に、粒子径が  $20\ \mu\text{m}$  以上の異物が  $1000\ \text{個}/\text{m}^2$  以下であることを特徴とする樹脂組成物。

【請求項 2】

熱可塑性樹脂を主成分とし、平均粒子径が  $0.01\ \mu\text{m}$  以上  $1\ \mu\text{m}$  以下の範囲内の有機微粒子を、5 重量% 以上 50 重量% 以下の範囲内で含む光学フィルムであって、

粒子径が  $20\ \mu\text{m}$  以上の異物が  $1000\ \text{個}/\text{m}^2$  以下であることを特徴とする光学フィルム。

【請求項 3】

上記熱可塑性樹脂は、アクリル系樹脂を 50 重量% 以上 100 重量% 以下の範囲内で含むことを特徴とする請求項 2 に記載の光学フィルム。

【請求項 4】

ガラス転移温度が  $110$  以上  $200$  以下の範囲内であることを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の光学フィルム。

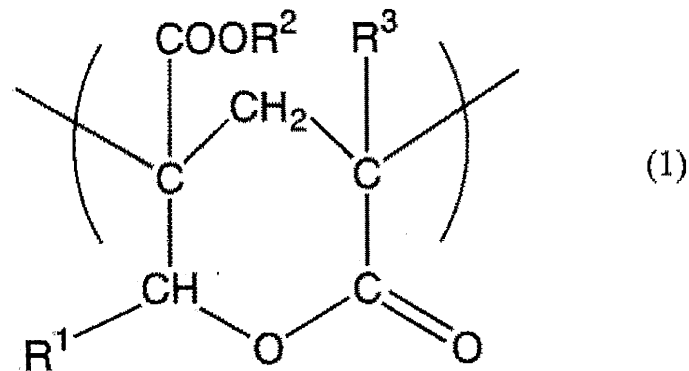
【請求項 5】

上記アクリル系樹脂は、ラクトン環構造を有していることを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の光学フィルム。

【請求項 6】

上記アクリル系樹脂は、下記一般式 (1)

## 【化 1】



(式中、 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ はそれぞれ独立に、水素原子または炭素数1～20の有機残基を示し、有機残基は酸素原子を含んでいてもよい。)

で表される構造を有することを特徴とする請求項5に記載の光学フィルム。

## 【請求項7】

上記有機微粒子は、架橋構造を有していることを特徴とする請求項2～6の何れか1項に記載の光学フィルム。

## 【請求項8】

厚さ100 $\mu\text{m}$ とした場合に、25、65%RHの雰囲気下、折り曲げ半径1mmにおいて180°折り曲げた際、クラックを生じないことを特徴とする請求項2～7の何れか1項に記載の光学フィルム。

## 【請求項9】

ヘイズが5%以下であることを特徴とする請求項8に記載の光学フィルム。

## 【請求項10】

上記有機微粒子は、平均粒子径が0.01 $\mu\text{m}$ 以上1 $\mu\text{m}$ 以下の範囲内のコア部となる粒子状重合体に、シェル部として(メタ)アクリル酸エステルを更に重合してなる、コア部とシェル部とからなる多層構造を有し、

上記コア部とシェル部との重量比は、20:80～80:20の範囲内であり、

上記シェル部は、5重量%以上50重量%以下の範囲内の2-(ヒドロキシメチル)アクリル酸エステルの単量体の構造単位を含むことを特徴とする請求項2～9の何れか1項に記載の光学フィルム。

## 【請求項11】

熱可塑性樹脂を主成分とし、有機微粒子を含む光学フィルムの製造方法であって、

上記有機微粒子を熱可塑性樹脂中に5重量%以上50重量%以下の範囲内で分散させる工程と、

有機微粒子が分散した上記熱可塑性樹脂をポリマーフィルタで濾過する工程とを含むことを特徴とする光学フィルムの製造方法。

## 【請求項12】

上記熱可塑性樹脂は、アクリル系樹脂を50重量%以上100重量%以下の範囲内で含むことを特徴とする請求項11に記載の光学フィルムの製造方法。

## 【請求項13】

上記ポリマーフィルタは、濾過精度が1 $\mu\text{m}$ 以上20 $\mu\text{m}$ 以下の範囲内であるリーフディスタタイプのポリマーフィルタであることを特徴とする請求項11又は12に記載の光学フィルムの製造方法。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】  
【手続補正 3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 0  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 1  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 2  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 7  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 8  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 8】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 9  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 9】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 4 0  
【補正方法】削除  
【補正の内容】